

# 漁海況速報

## No.41

平成15年10月24日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

沿岸水温は1℃降温、16℃台の冷水域が南下

①親潮系冷水の勢力は前週並みだが、冷水が断続的に南下し、相馬～富岡沖の20～30海里付近に16℃台の海域がみられる。

②黒潮系暖水の勢力は更に弱まり、20℃台は日立沖まで後退している。

③定地水温は、小名浜で1～2℃、大熊で2℃低め、松川浦で平年並みで推移しています。

#### 見通し(1週間)

・水温は現状並みで停滞し、大きな変化はみられないでしょう。

#### 漁況情報(サンマ)

- ・今週に入ってサンマ漁場の先端が南下し、本県～茨城県沿岸に広く漁場が形成されています。南下はほぼ平年並みですが、群れは分散しているため、漁模様は低調となっています。
- ・魚体は中型(29～30cm)主体で、漁期当初からの安値傾向は更に進んでおり、小名浜へ水揚げされたサンマも昨年の半値以下となっています。

表 10月20日現在の累積水揚量

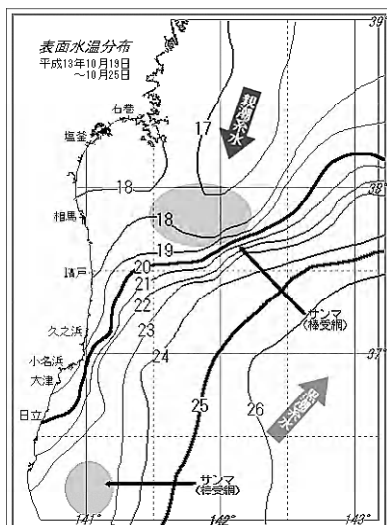
	平成15年			平成14年		
	延隻数	水揚量	単価	延隻数	水揚量	単価
福島県	28	1,096	70	14	177	160
本州合計	1,481	89,924	69	1,093	57,355	189
(全さんま資料より抜粋)			単位:トン、円/kg			

#### 定地・定点水温の推移(℃)

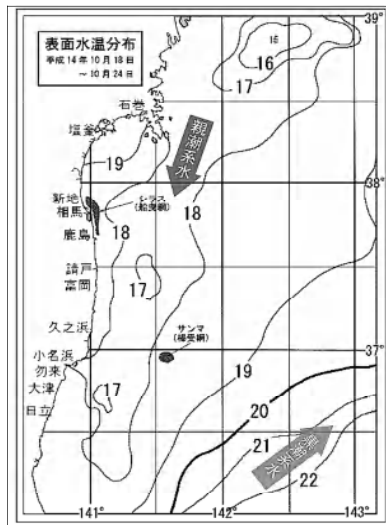
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
10/17	17.8	17.8	17.4	17.0
10/20	17.5	17.6	17.3	18.0
10/21	17.2	17.4	17.4	18.1
10/22	17.7	17.9	17.1	17.1
10/23	17.8	18.1	17.3	16.3

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

#### 平成13年同期



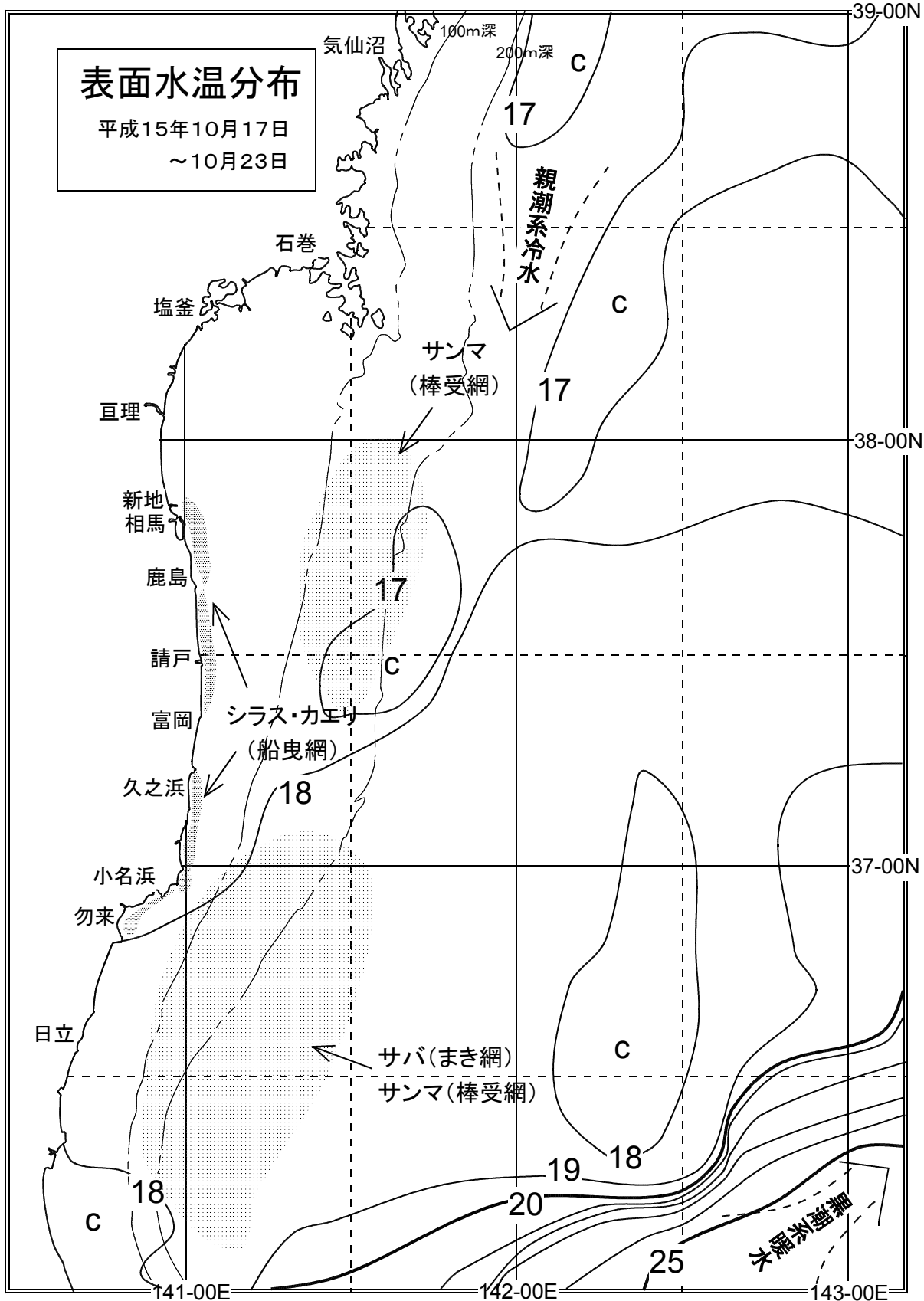
#### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年10月17日

～10月23日



# 漁海況速報

## No.42

平成15年10月31日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

16℃台の水帯が広がり、本県沖は16~17℃台

①本県沿岸は降温が進み、前週より約1℃低い16~17℃台となっている。また、相馬以北の100海里沖には、沖合寄りの親潮系冷水が南下し、15℃台がみられる。

②黒潮続流は、銚子沖を北北東に進んでおり、北への暖水波及は、いわき沖の東経145°(200海里)付近で20℃台がみられるのみ。

③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦でそれぞれ1℃低めで推移しています。

#### 見通し(1週間)

・水温は現状並みで停滞し、大きな変化はみられないでしょう。

#### 漁況情報(シラス)

- ・今年は漁模様が良くないシラス漁ですが、現在は全体的に漁が薄くなり、かなり低調となっています。
- ・調査船「拓水」が10月30日に実施した卵稚仔分布調査では、請戸沖2.5海里付近で若干のシラス(20mm程度)が確認されていますが、漁場形成に至るほどの量ではありませんでした。
- ・シラス漁低調の理由として、黒潮系暖水の弱勢・親潮系冷水の強勢による低水温が一因と考えられますが、今後も引き続き低水温が持続すると見込まれます。

(参考)シラスの水揚げ状況

		相双				いわき			
		水揚げ量		単価		水揚げ量		単価	
平	8月	*1	420	0	0				
成	9月	58	312	31	391				
1	10月	97	513	20	499				
5	11月								
年	12月								

※1 データは水試速報値(概数)、平成15年10月は30日現在。

※2 \*1トンは1トン未満。

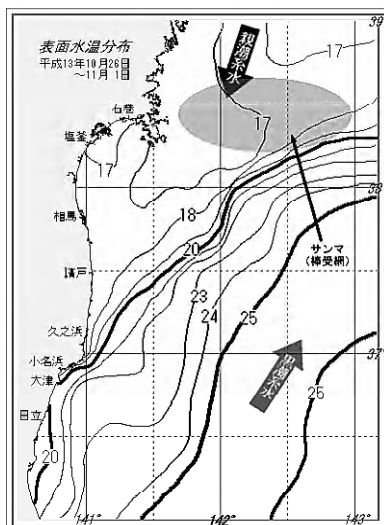
※3 平成15年のいわき地区の単価は、小浜含まず。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

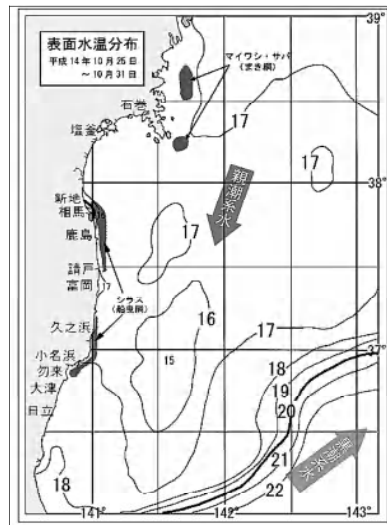
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
10/24	17.4	17.6	16.6	16.8
10/27	17.0	17.6	16.3	16.5
10/28	17.0	17.5	16.1	16.2
10/29	17.1	17.3	16.4	16.2
10/30	16.9	17.3	16.3	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

#### 平成13年同期



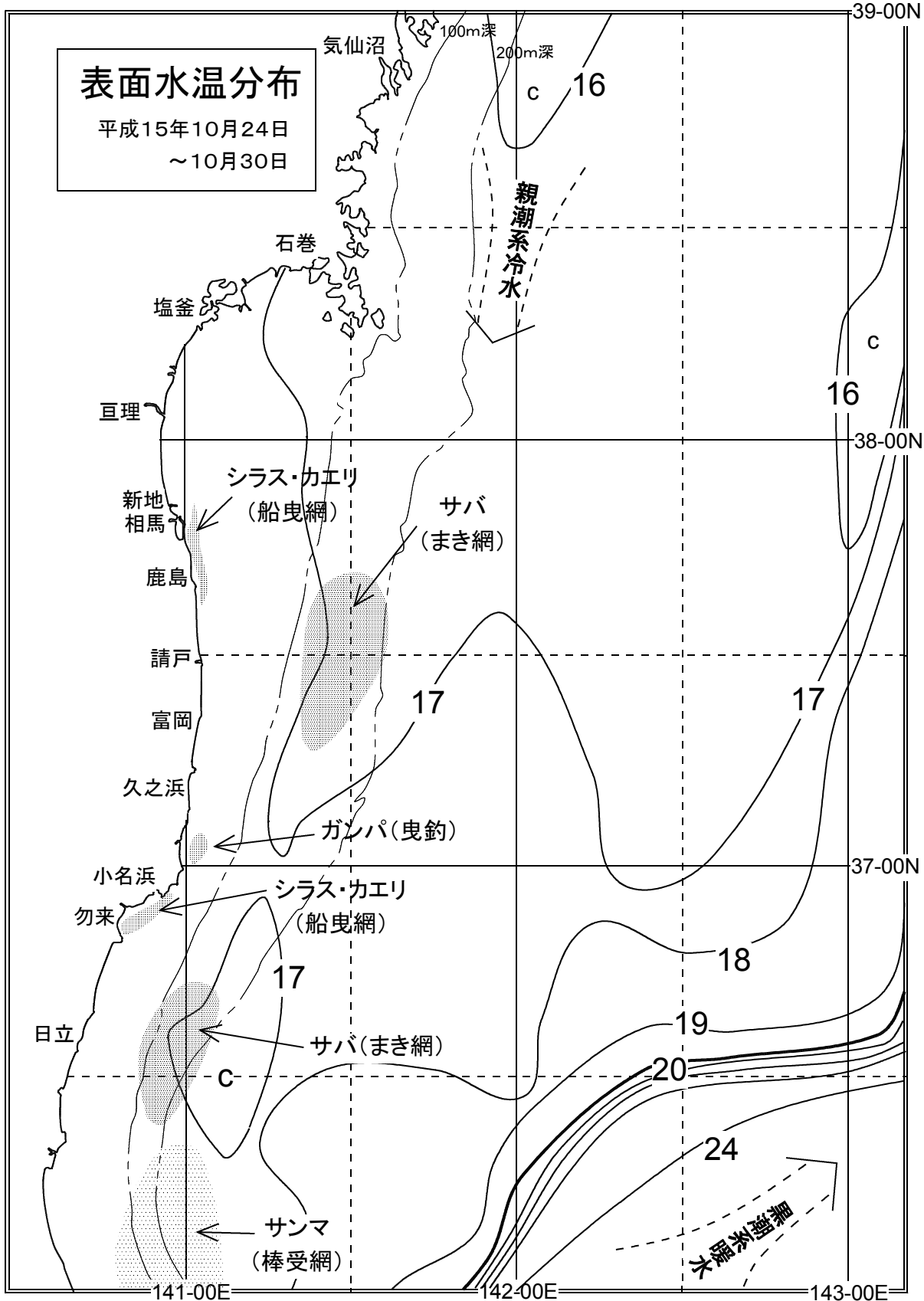
#### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年10月24日

～10月30日



# 漁海況速報

## No.43

平成15年11月7日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

県中北部沿岸は16℃台に降温

- ① 本県沿岸の降温傾向は持続し、15℃台の海域は宮城県境まで広がっている。
- ② 黒潮系暖水の勢力は前週並みで、大きな変化はみられない。
- ③ 過去の海況と比較すると、沿岸は昨年同期並みだが、50海里以東の沖合で昨年よりやや低めとなっている。
- ④ 定地水温は、小名浜、松川浦で平年並み、大熊で平年並み～1℃低めで推移しています。

#### 見通し(1週間)

- ・ごく沿岸の水温は、1℃程度の季節的な降温が進みますが、沖合は現状並みでしょう。

#### エチゼンクラゲについて

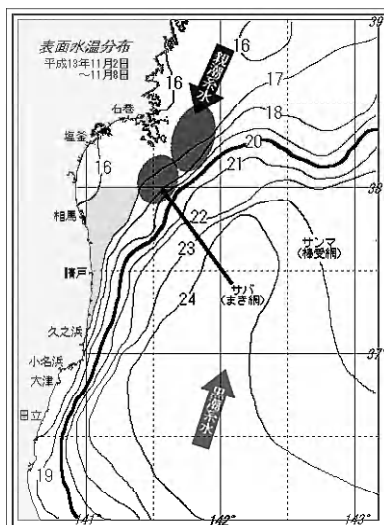
- ・日本海を中心に大量発生し、最近では三陸沿岸の定置網に入網するなど太平洋側でも漁業被害が出ているエチゼンクラゲですが、今週に入り、福島県沖にも来遊しているのが確認されています。
  - ・県中北部を中心に、相馬の定置網や底曳網に入網しています。また、いわき北部海域でも底曳網で確認されました。
  - ・現状では、漁業への直接的な影響はみられていませんが、今後、南下流が強くなれば大量に来遊すること考えられます。
- (参考)エチゼンクラゲ…重量200kgにもなる大型のクラゲ。分布域は日本海周辺。毒は弱く人体等への影響はほとんど無い。食用となる。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

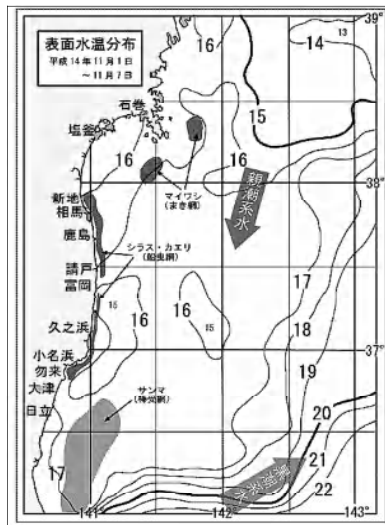
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
10/31	16.8	17.2	16.1	16.6
11/4	17.6	17.3	16.6	16.1
11/5	17.0	16.7	16.3	16.0
11/6	17.4	17.3	16.1	16.0
11/7	17.3	—	—	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

#### 平成13年同期



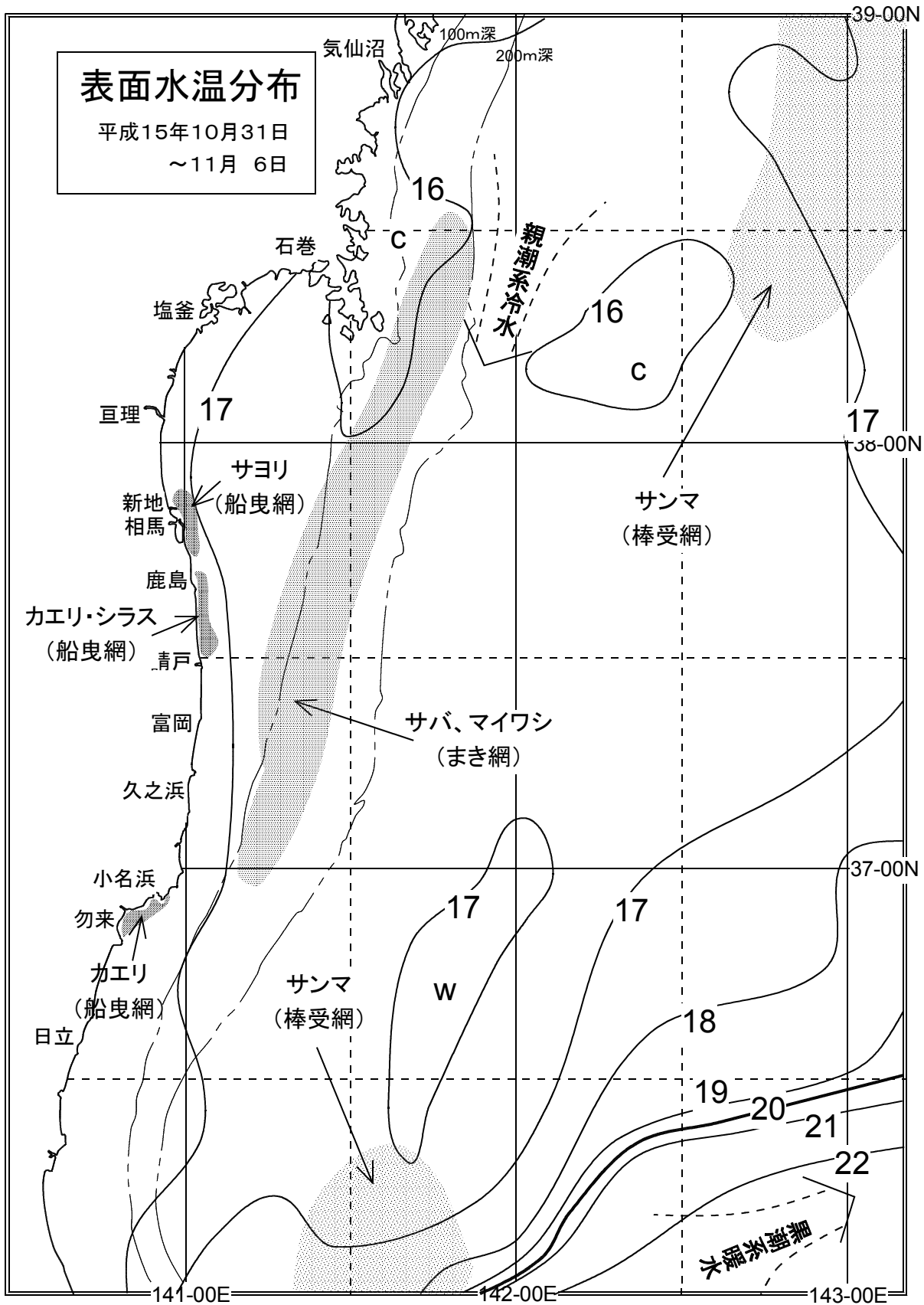
#### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年10月31日

～11月 6日



# 漁海況速報

No.44

平成15年11月14日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

前週並みに推移し、本県沖は15~16℃台

①親潮系冷水の勢力は前週並みで、沿岸は15~16℃台だが、14℃台の水帯が相馬~請戸沖50海里付近およびいわき~日立沖50~75海里付近にみられる。

②黒潮系暖水の勢力は前週並みで、大きな変化はみられないが、宮城県沖の50海里付近に17℃台が分布している。

③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦とも平年並みで推移しています。

### 見通し(1週間)

・海況は、今後も現状並みに推移する見通しです。

### ホッキ貝稚貝の大量発生について(速報)

- ・水産試験場相馬支場は、10月30日、11月4日に相馬市磯部地先でホッキ貝の稚貝発生状況を調査しました。
- ・その結果、今年の発生は平成6年以来の大量発生であることが確認されました。現在、全県下で発生状況を調査しているところですが、他の海域でも大量発生があったものと思われます。詳細については、近々にお知らせいたします。

### 漁況情報(サンマ)

- ・常磐沖におけるサンマ漁場は、今年は10月中旬より形成され、金華山~銚子沖の間で変動しています。
- ・下表は11月10日現在のサンマ水揚げ状況です。

	平成15年			平成14年		
	延隻数	水揚量	単価	延隻数	水揚量	単価
福島県	102	3,454	49	118	2,870	92
本州合計	2,334	121,380	63	1,818	81,937	167

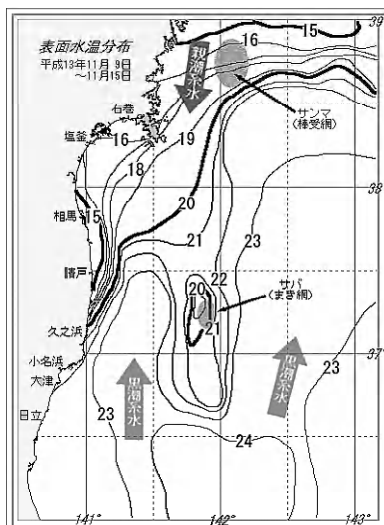
(全さんま資料より抜粋) 単位:トン、円/kg

### 定地・定点水温の推移(℃)

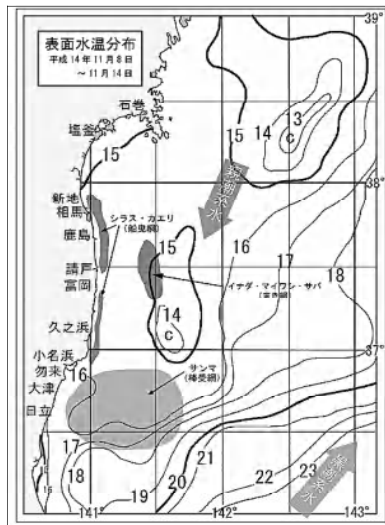
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
11/7	17.3	17.3	16.7	15.7
11/10	16.3	16.5	15.4	15.6
11/11	15.8	16.2	15.2	15.2
11/12	15.6	16.7	15.0	14.8
11/13	15.6	16.5	14.6	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

### 平成13年同期

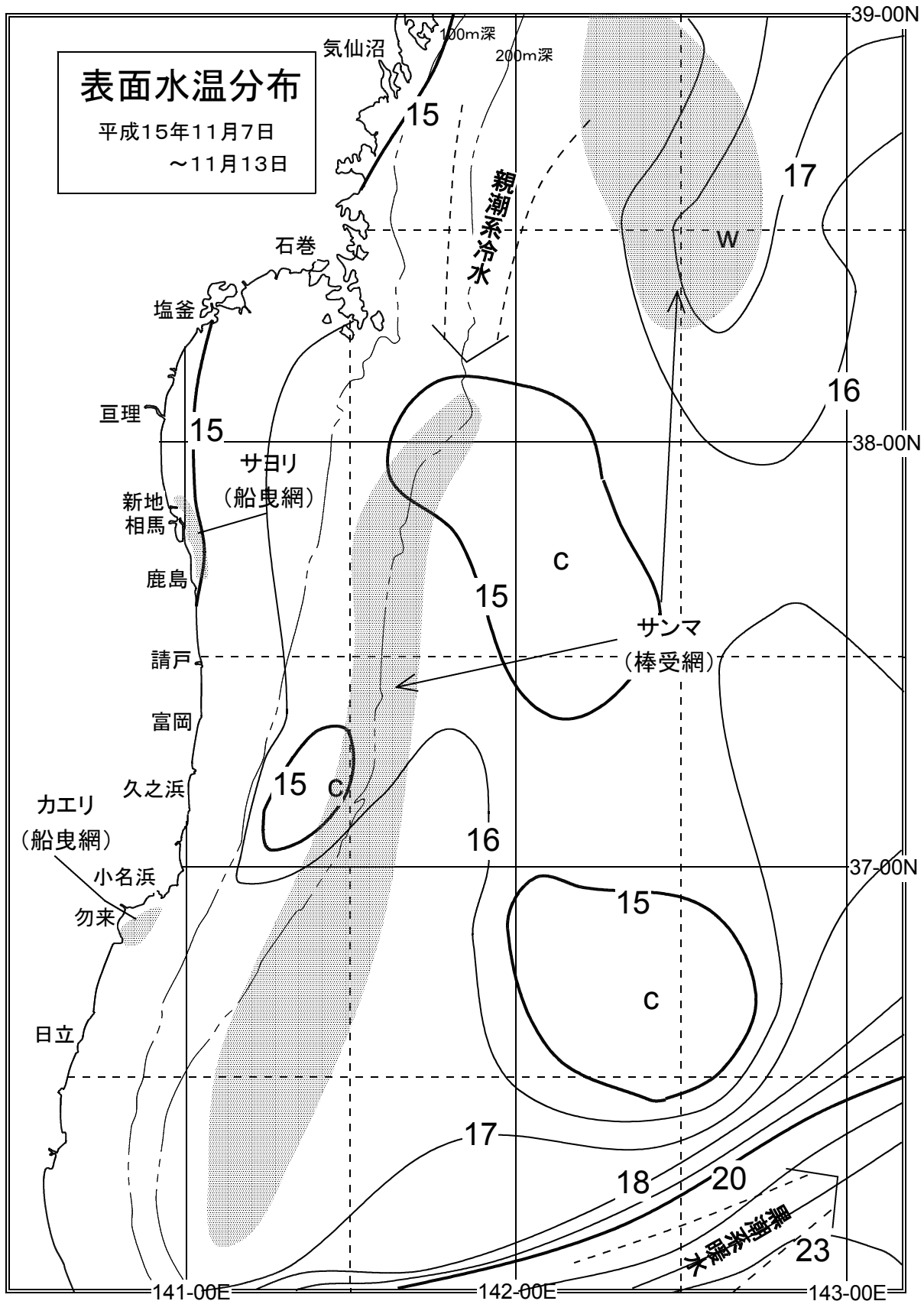


### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年11月7日  
～11月13日



# 漁海況速報

No.45

平成15年11月21日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

本県沖は広く15℃台、沖合に親潮系冷水が波及

- ①親潮系冷水の勢力は沖合で前週より強まっている。金華山沖にある暖水の南側を通り、本県沖50～100海里付近へ波及している。
- ②黒潮系暖水の勢力は依然弱いものの、茨城県海域の沖合で北へやや張り出している。
- ③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦とも平年並みで推移しています。

### 見通し(1週間)

- ・沖合からの冷水波及は持続し、本県沿岸には冷水域が形成されるでしょう。

### 平成15年11月海洋観測結果

- ・11月18日～20日に「いわき丸」が行った海洋観測結果をお知らせします。
- ・今期の特徴は、依然として低め基調が続いていることです。前月に比べると「極めて低め(平年より4℃以上低い)」の海域は縮小しましたが、それでも平年より2℃程度低めとなっています。
- ・また、下層の冷水が平年よりも表層近くまで分布しており、5℃の等温線は100～200m深付近でみられています(平年は250～300m深付近で見られます)。

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾埼	16.9	-1.16	-0.72	14.49	-1.03	-0.81
富岡沖	17.5	-1.68	-0.56	13.62	-2.65	-0.11
塩屋埼沖	18.0	-2.16	-0.77	14.21	-2.55	-0.40
平均	17.4	-1.67	-0.68	14.12	-2.15	-0.44

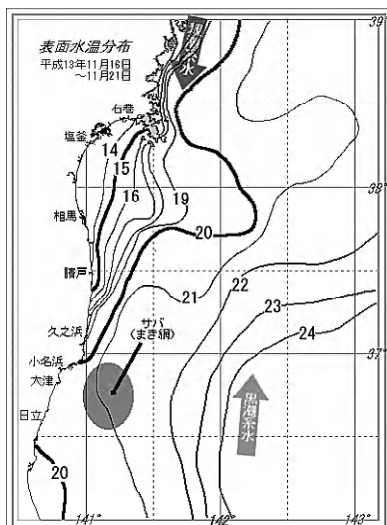
(表中の数字は℃、50海里以内の平均)

### 定地・定点水温の推移(℃)

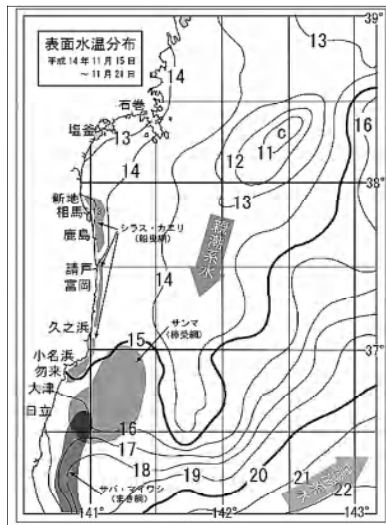
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
11/14	15.0	15.6	14.2	15.0
11/17	15.8	16.2	14.6	15.1
11/18	15.0	15.5	14.3	15.0
11/19	15.2	15.4	14.2	14.4
11/20	15.1	15.2	14.2	14.4

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

### 平成13年同期



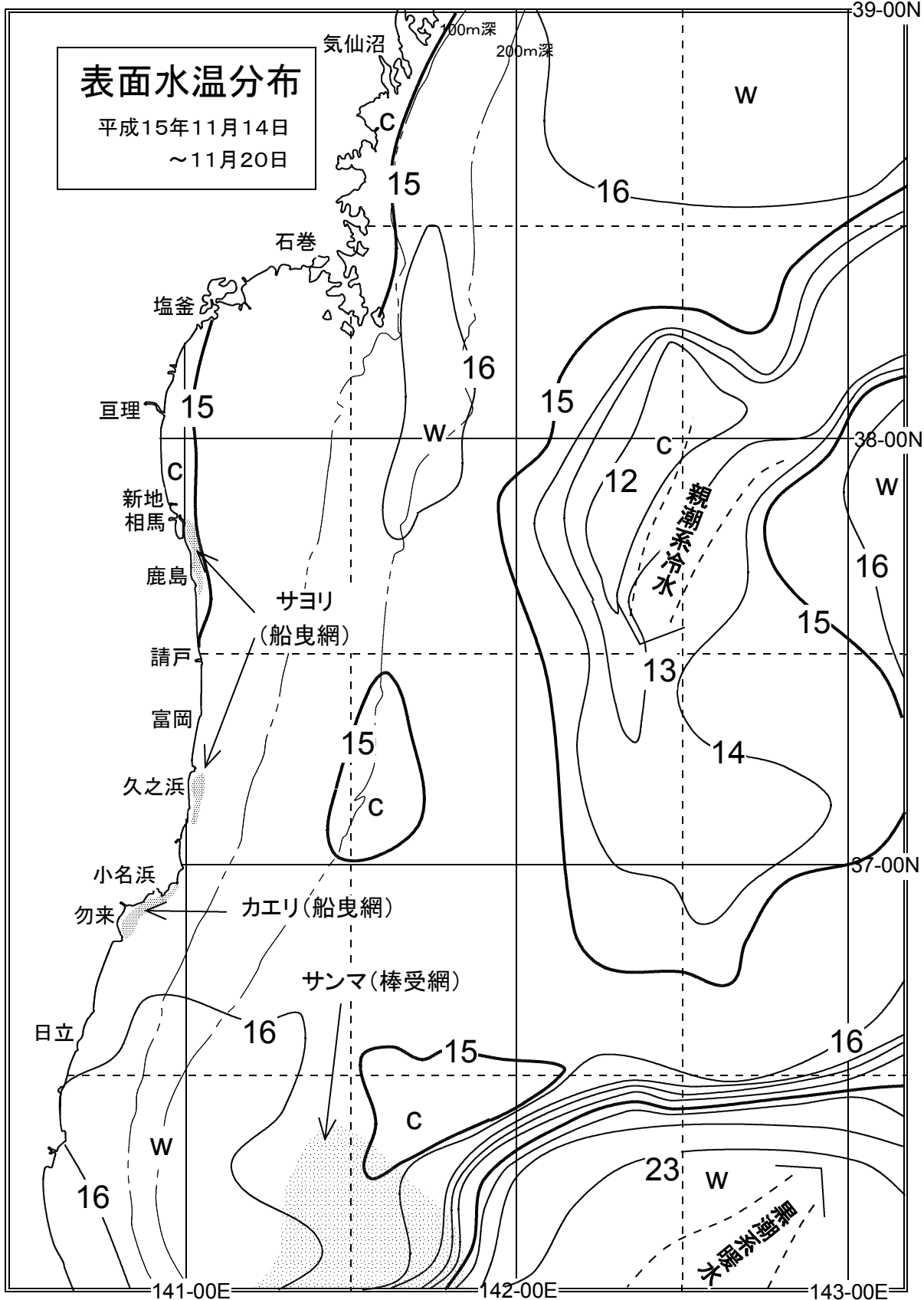
### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年11月14日

～11月20日



# 漁海況速報

## No.46

平成15年11月28日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

沖合からの冷水波及により、13℃台の領域が広がる

- ①本県沖合からの冷水波及は持続し、13℃台が本県沖50海里付近にみられる。
- ②黒潮系暖水の勢力は沖合でやや強まり、相双沖75海里以東で15～16℃台が広がっている。また、茨城県沿岸で弱い北上暖水がみられ、日立付近で17℃台となっている。
- ③定地水温は、小名浜で1℃低め、大熊、松川浦で平年並みで推移しています。

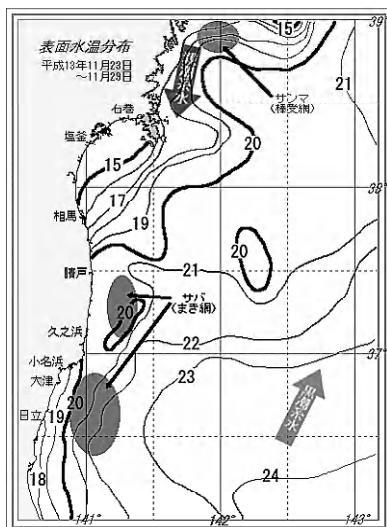
#### 見通し(1週間)

- ・沖合からの冷水波及により、沿岸には13～14℃の冷水が停滞するでしょう。

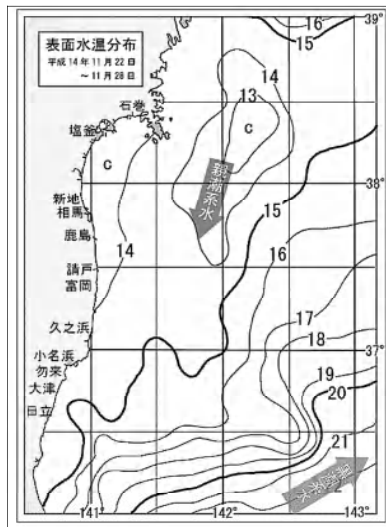
#### ホッキ貝稚貝の大量発生について(No.44の続報)

- ・前々号で、相馬市磯部地先で平成6年以来のホッキ貝稚貝の大量発生があったことを伝えましたが、今回は全県的な調査結果についてお知らせします。
- ・11月13日～20日にかけて、県内沿岸で調査した結果、勿来、豊間、四倉、沼之内、請戸、鹿島地先でもホッキ貝稚貝が大量に発生していることを確認しました。今年の春から夏にかけて低水温であったことから、全県的にホッキ稚貝が大量に発生したと考えられます。
- ・順調に成長すれば、3～4年後には、漁獲対象資源になると思われます。しかし、場所によっては発生量がこれまでになく大規模であることから、極端な成長不良などが心配されますので、今後の推移を見ていきたいと思います。

平成13年同期



平成14年同期



#### 定地・定点水温の推移(℃)

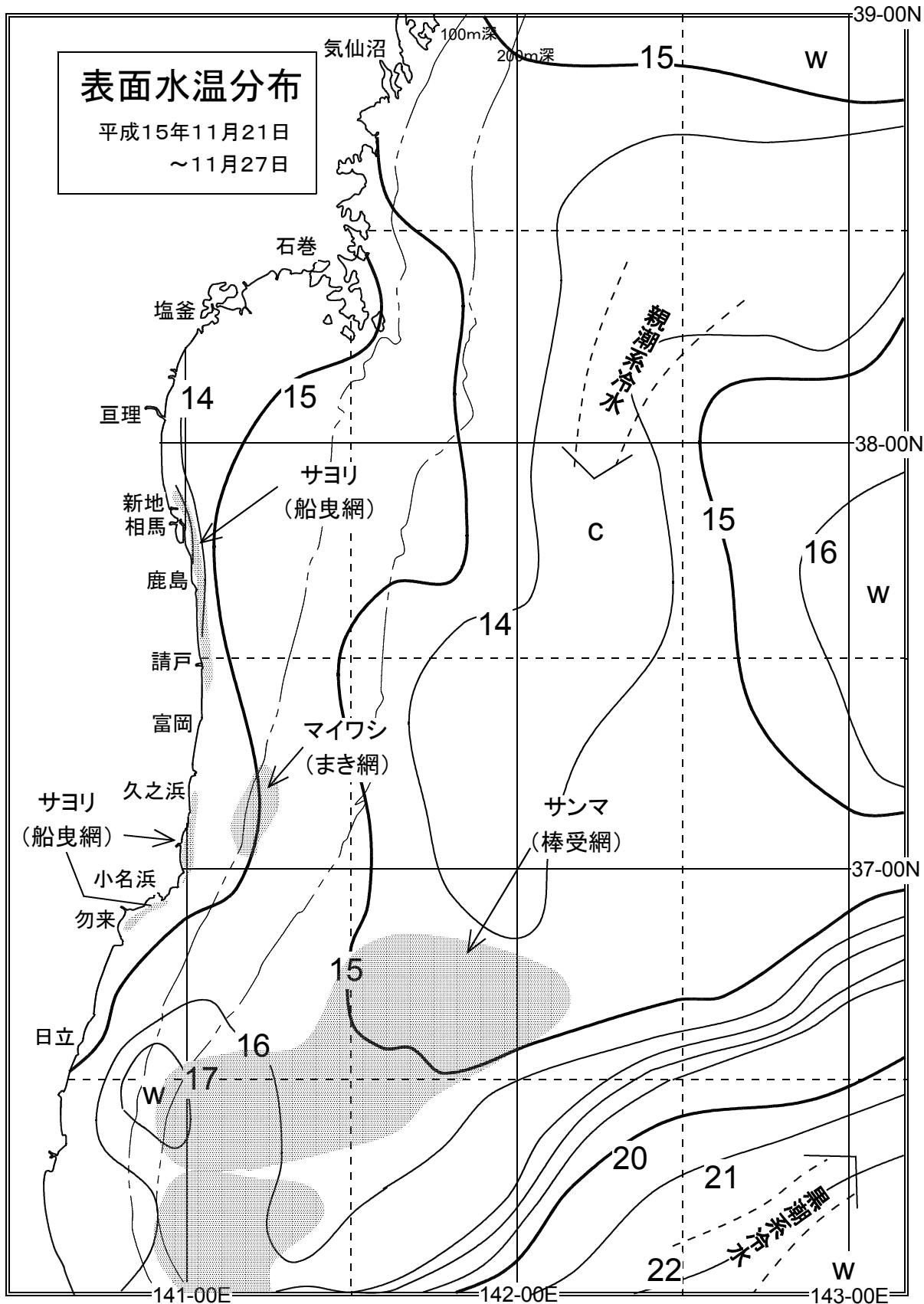
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
11/21	15.2	15.5	14.9	15.1
11/25	14.5	14.6	13.1	14.5
11/26	14.5	14.4	12.9	14.8
11/27	14.0	13.9	12.0	14.2
11/28	13.8	—	12.1	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

# 表面水温分布

平成15年11月21日

～11月27日



# 漁海況速報

## No.47

平成15年12月5日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

さらに降温が進み、沿岸は13~14℃台に

- ①本県沖合からの冷水波及により、本県沖30~50海里付近には、12~13℃台の冷水域が形成されている。
- ②黒潮系暖水の勢力は弱く、茨城県沿岸で15~16℃台の北への張り出しがみられる以外は、目立った波及はない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊で1~2℃低め、松川浦で平年並みで推移しています。

#### 見通し(1週間)

- ・本県沖の冷水域は持続し、12℃台の水域は広がるでしょう。

#### 漁況情報(サンマ)

- ・10月中旬に常磐海域で漁場が形成され、本県への水揚げが本格化した今年のサンマ漁ですが、11月末でほぼ終漁模様となっています。
- ・11月30日現在の北海道・本州全体および福島(属地)の水揚げ状況は下表のとおりで、総計、福島とも総水揚げ量は昨年を上回りました。
- ・単価は、漁開始当初から安値傾向で持続し、11月末までの平均では昨年の半値以下となりました。全国の水揚げ金額は昨年の53%にとどまり、「大漁貧乏」による厳しい漁模様に終わりました。

	平成15年			平成14年		
	延隻数	水揚げ量	単価	延隻数	水揚げ量	単価
福島県	165	5,715	43	352	5,628	87
総計※	15,217	249,941	69	18,154	202,423	161

(全さんま資料より抜粋)

単位:トン、円/kg

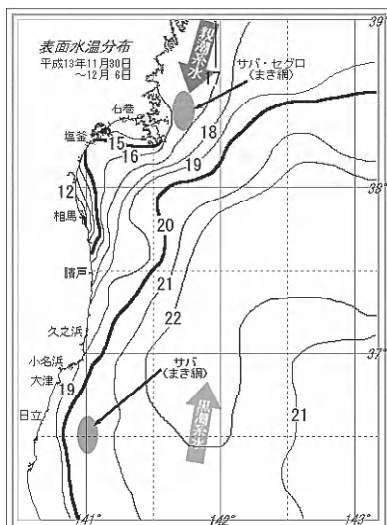
※総計は、北海道・本州の合計

#### 定地・定点水温の推移(℃)

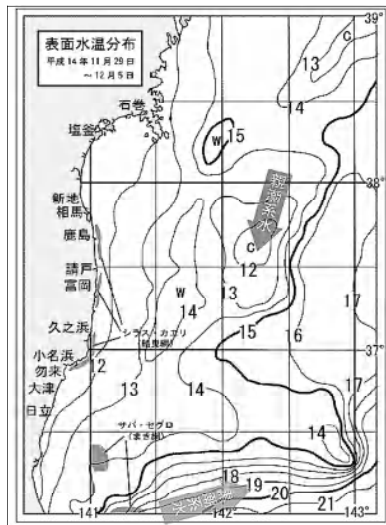
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
11/28	13.8	13.7	12.1	—
12/1	14.4	13.6	13.4	—
12/2	14.0	14.0	12.8	—
12/3	13.5	13.6	12.7	—
12/4	13.4	13.7	12.2	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

#### 平成13年同期



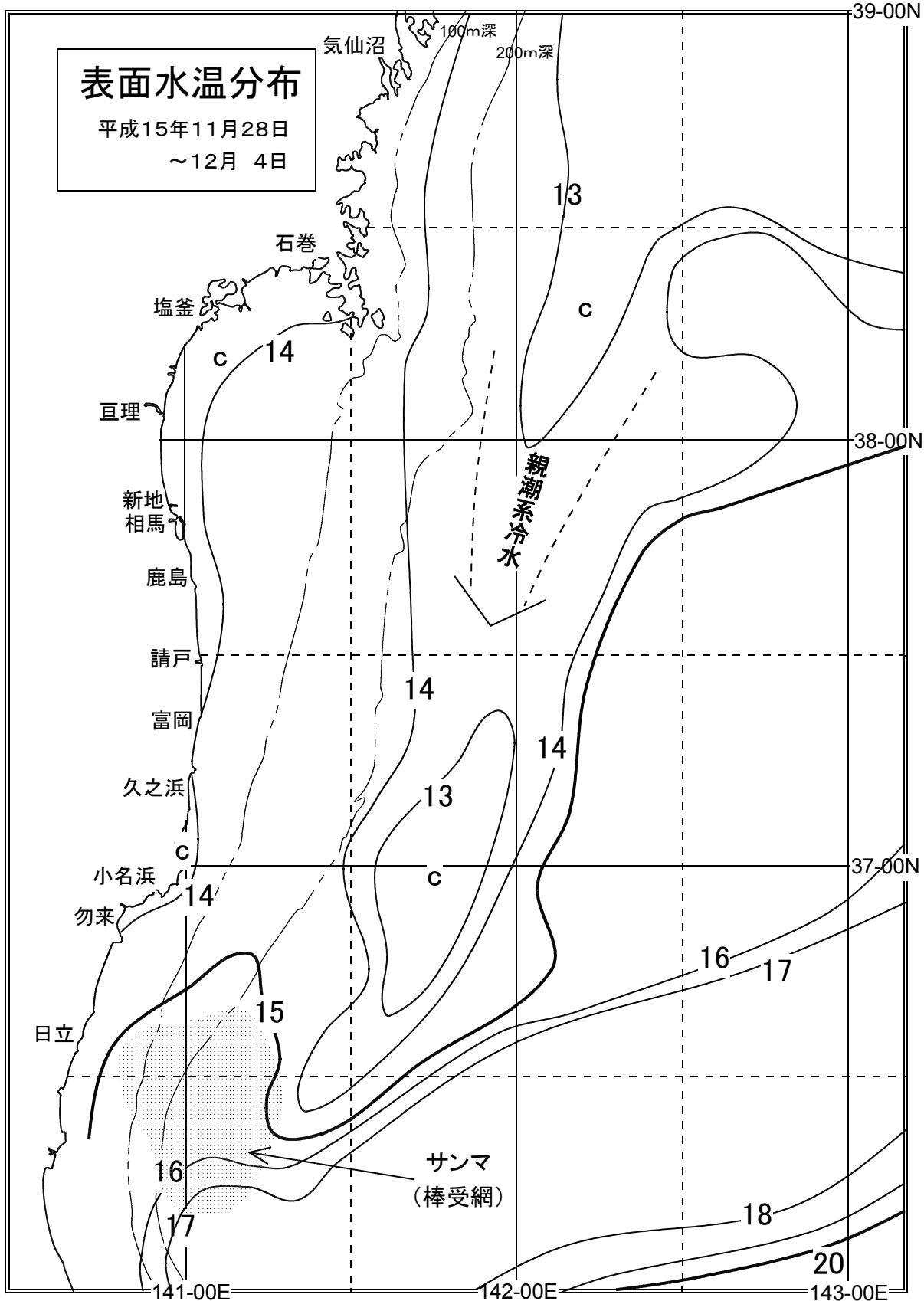
#### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年11月28日

～12月 4日



# 漁海況速報

## No.48

平成15年12月12日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

#### 降温進み、12~13℃台になる

①親潮系冷水の勢力は前週並みで、宮城県沖合から本県沿岸にかけて断続的に11℃台の冷水が分布している。

②黒潮系暖水の勢力は弱い、茨城県のごく沿岸に15~16℃の暖水舌がみられている。また、20℃台の等温線は前週よりやや北上した。

③定地水温は、小名浜、大熊では平年より1℃低め、松川浦では平年より1℃高めで推移しています。

#### 見通し(1週間)

・沿岸部は降温が進むでしょう。親潮系冷水は現状並みの勢力でしょう。

#### 平成15年12月海洋観測結果

・12月4日~6日に「いわき丸」が行った海洋観測結果をお知らせします。

・今期の特徴は、表層で平年並みの水温となった一方で、下層(100m深)では低め~極めて低めとなったことです。

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾埼	13.6	-0.43	+0.10	11.44	-2.12	+1.30
富岡沖	14.0	-1.08	+0.30	10.23	-3.58	+2.90
塩屋埼沖	14.3	-1.04	+0.15	10.19	-3.73	-1.81
平均	14.0	-0.85	+0.18	10.62	-3.15	+0.79

(表中の数字は℃、50海里以内の平均)

#### 東北海区海況予報(平成15年12月~平成16年2月)

・東北水研から12月9日に発表された予報です。

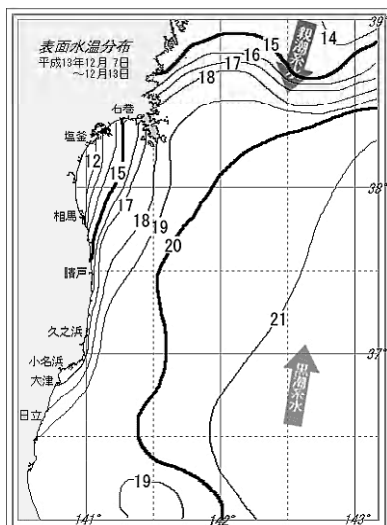
- 1 近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏(36°N~37°N)で推移する。
- 2 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並みに推移する。
- 3 三陸沖の暖水塊は持続する。
- 4 親潮第一分枝の張出しは、やや南偏(39°N付近まで)で推移し、常磐近海に冷水域が残る。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

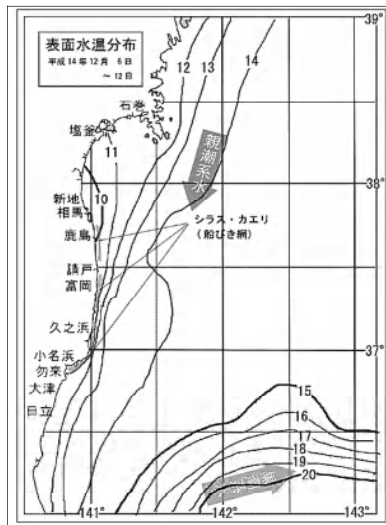
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
12/5	12.9	13.6	12.0	-
12/8	13.2	13.7	12.4	-
12/9	13.1	13.6	12.3	-
12/10	12.5	13.4	12.1	-
12/11	12.5	13.1	12.3	-

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

#### 平成13年同期



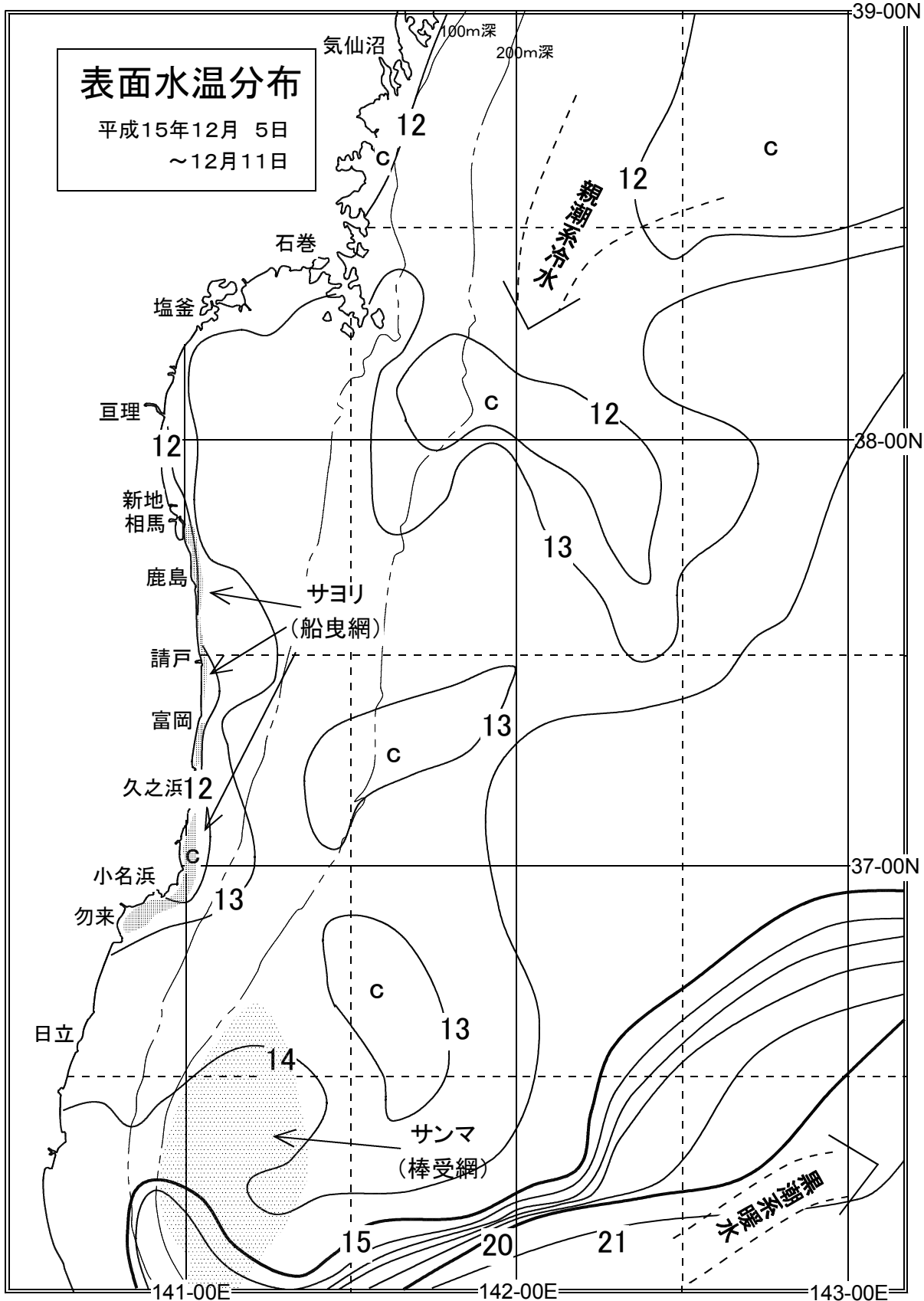
#### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年12月 5日

～12月11日



# 漁海況速報

## No.49

平成15年12月19日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

県北部沖合から9℃台の冷水が波及

①親潮系冷水の勢力は前週並みで、これまでと同じく県北部沖合から冷水が波及しており、冷水域の南端(9℃台)は相馬沖75海里付近にある。

②黒潮系暖水は弱く、茨城県沿岸の暖水波及が解消し、沖合でも北への波及は弱い。

③定地水温は、小名浜、大熊は平年並み～1℃低め、松川浦では平年より1℃高めで推移しています。

#### 見通し(1週間)

・県北部沖合からの冷水波及が継続するでしょう。

#### 漁況情報(サケ)

- ・福島県における平成15年度のサケ来遊状況は、次のとおりでした。
- ・サケ来遊尾数は、11月下旬までの集計で約320千尾(うち海面約150千尾、河川約170千尾)でした。昨年同時期の来遊尾数は約393千尾で、対前年比では約81%です。
- ・平成4～13年の平均来遊尾数は約396千尾なので、今年の来遊尾数は平年よりも少なかったと考えられます。

#### 平成15年第2回イワシ・サバ等長期漁海況予報

- ・12月16日に、関係機関が協議・採択した予報を中央水産研究所が取りまとめ発表したのをお知らせします。

＝見通し(平成16年1月～6月)＝

【マイワシ】低水準の前年並み。

【カタクチイワシ】高水準で、前年並みか前年を下回る。

【マサバ】犬吠以北では前年並みかやや下回り、他海域では前年並みの低水準。

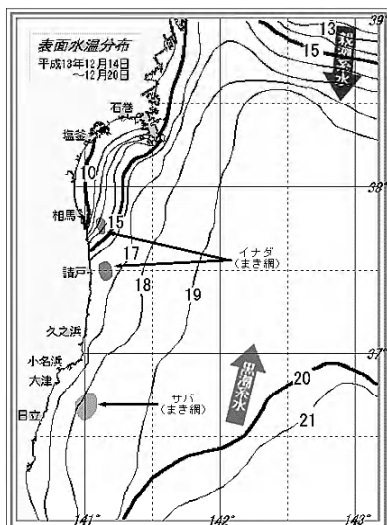
【ゴマサバ】2歳魚中心に前年並みか上回る海域が多い。(詳細は福島水試HPをご覧ください。)

#### 定地・定点水温の推移(℃)

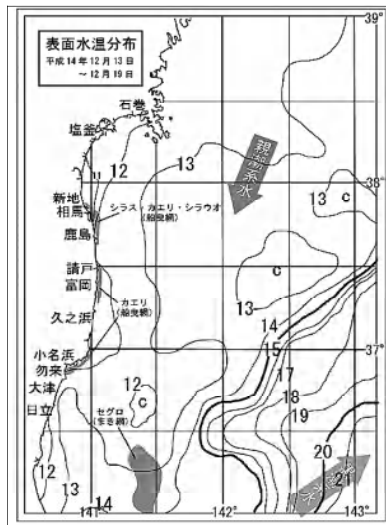
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
12/12	12.4	13.1	11.9	12.4
12/15	12.0	13.0	11.5	12.2
12/16	12.4	12.8	11.6	11.9
12/17	11.7	12.1	11.2	11.8
12/18	11.2	12.2	11.6	11.4

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

#### 平成13年同期



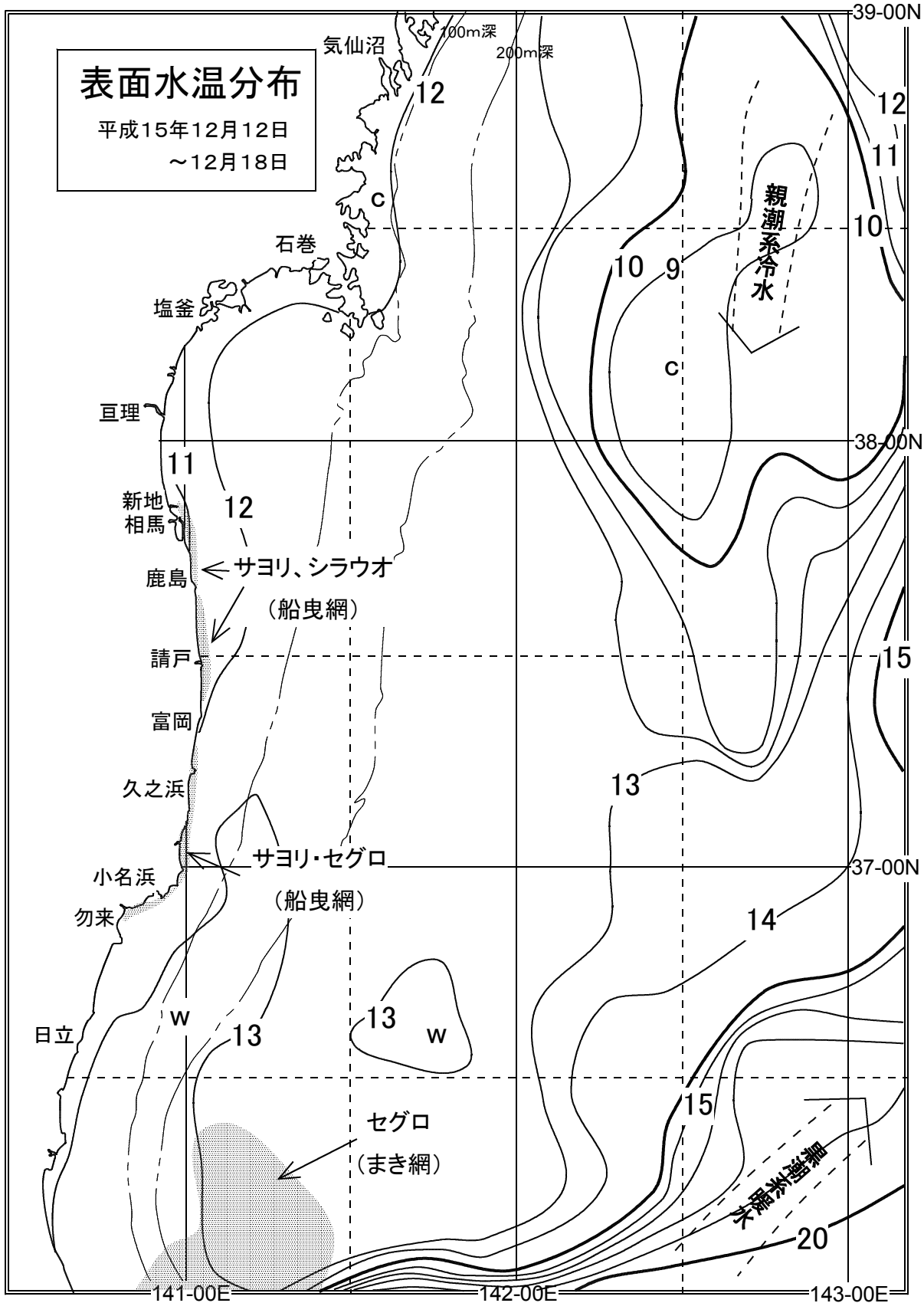
#### 平成14年同期



# 表面水温分布

平成15年12月12日

～12月18日



# 漁海況速報

## No.50

平成15年12月26日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

#### 海況(表面)

##### 親潮系冷水が本県沖に停滞

- ①親潮系冷水の勢力は前週並みで、本県沖にみられた9℃台の冷水は、いわき北部沖の50海里付近まで南下している。
- ②黒潮系暖水は前週並みで、黒潮続流は前週の北北東から北東方向へ変わっている。
- ③定地水温は、小名浜、大熊は平年並み～1℃低め、松川浦では平年より1℃高めで推移しています。

#### 見通し(1週間)

- ・本県沖の冷水域は解消に向かうでしょう。黒潮系暖水の勢力は概ね現状並みでしょう。

#### 漁況情報(まき網)

・1月～12月のまき網による浮魚類の水揚量は、次のとおりでした。(平成15年12月は24日まで)

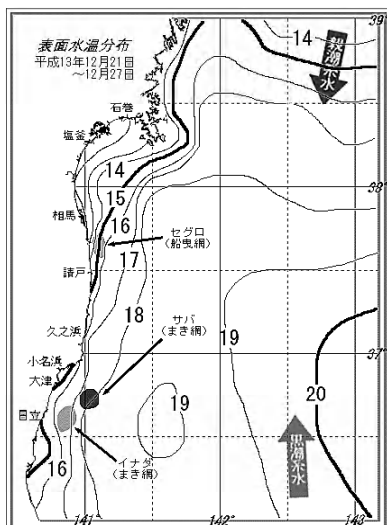
	平成15年			平成14年		
	マイワシ	セゴロ	サバ類	マイワシ	セゴロ	サバ類
1月	0	4,920	0	41	693	1,140
2月	0	2,470	0	18	3,006	400
3月	0	124	0	0	0	0
4月	0	17	378	0	169	0
5月	0	0	200	0	0	0
6月	0	264	0	28	7	0
7月	37	0	170	110	0	2
8月	51	0	0	492	0	0
9月	9	0	17	0	0	0
10月	50	0	190	0	0	234
11月	110	0	12	51	0	426
12月	4	423	205	0	2,642	906

単位: トン

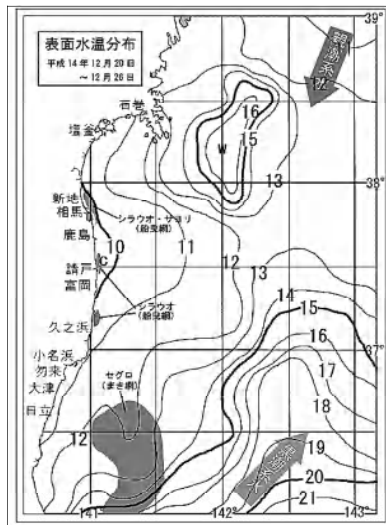
#### お知らせ

・今年の漁海況速報は本号で終了です。平成16年は1月9日(金)から発行します。

#### 平成13年同期



#### 平成14年同期



#### 定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
12/19	11.9	12.0	11.5	11.4
12/22	11.3	11.4	10.2	11.6
12/24	11.7	12.1	10.4	11.7
12/25	11.6	11.8	10.7	11.8
12/26	11.7	-	-	10.8

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

# 表面水温分布

平成15年12月19日

～12月25日

